

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 1月号



令和7年1月7日(火)

048 (641) 1214

048 (641) 6680 (さわやか相談)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

『人間性豊かな 実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

新しい年を迎えて

校長 小林 正美

明けましておめでとうございます。保護者の皆様ならびに地域の皆様には、健康で希望に満ちた新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」と言います。時間の流れというものには区切りというものはありません。時間の概念(感覚)を持たない動植物は、朝や昼や夜、そして季節の変化を感じ取ることはあるかと思いますが、私達人間のように時間の区切りや節目を意識することはおそらくないと思います。私たち人間は動植物とはそのところが違います。特に、生徒の皆さんは、年や月、学期などの変わり目や節目などを意識し、新たな目標を立てることによって、自分自身をよりよく成長させようと努力することができます。「一年の計は元旦にあり」とは、「一日の計画は、一日のはじめの朝に立て、一年の計画は一年のはじめの元日の朝に立てるのが良い。」という意味です。皆さんはこの一年の計画をどのように立てたでしょうか。

学校では、令和7年を迎えるとともに、締めくくりの第3学期が始まりました。3年生にとっては、進路を決定する大事な時期であり、中学校最後のまとめの時期でもあります。将来の大きな夢に向かって、一人一人が自分のペースを崩さずに、希望の進路選択ができるよう願っています。2年生、1年生にとってもそれぞれまとめの学期です。2年生は中学校の最上級学年に向けて、1年生は中堅学年に向けて、心身ともに準備しなければならない大切な学期です。自分が立てた計画に従って、一步一步着実に前進しましょう。最後に「きくらなるみ」さんの「新しい年を迎えて」という詩を紹介いたします。新たな年を迎え、気持ちを新たに自分のよさを見付ける努力を重ねていってほしいと願っています。

新しい年を迎えて

初日がのぼる 新しい年があける
個人個人は歳をとらないが
日本がひとつ歳をとる
世界がひとつ歳をとる
人類がひとつ歳をとる
きみも あなたも わたしも
みんな歴史の中に生きている

新しい一年をきみの歴史のどんな歳にするか
—それはきみの心にかかっている

去年の失敗なんかにくよくよするな
つらいなんて弱音をはくな
悲しいことにも ぐっと耐えて
苦しいことにも 真っ先にぶっつかれ
全力投球で
どっしりと大地に足をつけて
一步一步 力強く歩め

きみたちの中にいる
未来の学者や建築家 政治家

未来の芸術家や科学者 教育者
そして 日本の 世界の 人類の
明日を担うきみたち ひとりひとりよ
その日のために
新しい一年を大事にしよう

世界を望んで目を大きく見開こう
全人類に向かって心を広くもとう
きみたち若い人たち
きのうおとしりにいただいた
新巻鮭だって
七つの海を泳いできたんだ

初日がのぼる
全世界の人々が仰ぐ太陽がただひとつ

初日がのぼる
日本をつつみ 世界をつつんで
果てしなく広がる空に向かって
大きくひとつ呼吸して
希望を大きくはばたかせ

(作: きくら・なるみ 「いま、中学生に心の詩を」)